

144 3月



北朝鮮のミサイル発射を受け、情報収集に追われる宮城県の職員  
3日前、同県市

# Jアラートで混乱

## 宮城など発令もEZ外落下

3日前、北朝鮮が弾道ミサイルを発射したことを受けて、日本政府は「全国瞬時警報システム」(Jアラート)を発令しました。政府はその後、当初「日本列島を超えて飛翔(ひしょう)」する可能性がある

ある」としていたミサイルについて、「日本海上空にてレーダーから消失した」と訂正しました。3発とも撃滅的経済水域(EEN)外に落としたと結論づけました。一方、Jアラートの対象となつた宮城、新潟、山形の3県では、自治体職員(わくせいしょくいん)が海上で被験がないことが確認されました。この結果、男性職員は「今年に入り10回以上は対応している」とため息をつきました。

新潟県では情報連絡会議が開かれ、漁船や東京電力柏崎刈羽原発に被害がないことが報告されました。山形県でも防災危機管理課の職員らが慌ただしく入り、食べる間に画面を見詰めていました。

加茂支所(鶴岡市)の男性職員によると、「出航していた漁船はなく、被害はなかたどりません。ミサイル発射が続いていることに困った話だ」と心配した様子でした。

山形県漁業協同組合